



# 本町だより

横浜市立本町小学校 令和4年 5月31日 発行 第595号

## 6月 あたたかい やさしい風に背中を押されて

校長 田川 斉史



アジサイの花の咲く季節となりました。子どもたちは、明るく元気に学校生活を送っています。それと同時に、暑さとの闘いが始まる時期になりました。今月も健康で、楽しい学校生活のためのご支援とご協力をお願いします。

## 安全、安心な登下校を 家庭、地域に見守られて…

毎朝、たくさんの保護者、ご家庭のみなさん、そして地域の方々が、子どもたちの登校の「見守り」に力をお貸しいただいています。我が子を見送りながら、近所の子どもに声をかけながら、お勤めに向かうときにすれ違いながら、大人の目で子どもたちが見守られていることに、この「まち」のあたたかさを感じます。ありがとうございます。

### 「電柱のてっぺんにカラスが巣をかけたんだ。」

子どもたちの通学の安全を確保するため、さっそく関係機関に連絡をしてくださいました。

これからも、できるときにできる場所で支えてください。子どもたちの安全は大人の目で。学校では、感謝の気持ちも込めて「気持ちのよいあいさつをしよう」と指導しています。ご家庭でも一声を…。お願いします。

## 聞くこと、話すこと、思い描くこと

### 『目黒の秋刀魚』『時蕎麦』『茶の湯』。古典落語のCDを見つけ、何気なく再生すると…。

噺家の軽妙な口調で、みるみるうちにその世界に引きずり込まれました。何となく思い浮かぶ『殿様の表情』、『必死にお金を数える蕎麦の屋台の主人』、『お茶を泡立たせるためにおもいきり動いている指先』。噺家の「話術」に見事にはまってしまいました。聞き手に情景を空想させる、そんな噺家の技術に驚いたこと、話を聞いて想像を膨らませることがこんなに楽しいことなのだ、改めて感じました。子どもたちの会話がとても短く感じられます。単に語彙が不足しているだけとはいえません。『会話』を重ねることが少なくなってしまう代償なのかもしれません。子ども同士のトラブルの多くが「会話」「言葉」がもと。相手がどう思うのか、これを言ったらどう感じるのか、なぜそんなことを言われるのかわからない…。大人からの指導も「指導された(叱られた)」ことだけに腹を立て、なにを指導されたのか、なぜ指導されたのか、その内容までわかろうとしない子どもが少なくありません。わからないこと、必要なことはほとんどネットですぐに手に入ります。便利におぼれた反面、周りの人の話を聞いて、空想の世界を広げていく(思い描く)経験が少なくなっていました。

### 「昔々あるところに、おじいさんと、おばあさんが住んでいました。」(どんなところ???)

読み聞かせは、きっと子どもたちに「思い描くこと」の貴重な経験をさせているのだと思います。感染対策を講じつつ、読書、読み聞かせの時間を大切にしていきたいと思っています。

ほんちようしょうがっこう ねん そうりつ ねん むか  
本町小学校は、2024年に創立120年を迎えます。

